

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日： 2019年 6月 19日

事業所名 チャイルドCOCO羽島

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	5	0	0	・子育て経験のあるスタッフも配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	2		・今のところ車椅子等が必要な利用者がいないため配慮は必要ではないが、必要があれば随時対応していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	・スタッフが個別に問題点を話し合い、全員参加のミーティングで検討・修正を加えている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	・保護者に事業所についてのアンケートを実施し、保護者の意向をふまえて、事業改善を行っていき、アンケート結果などを通して、代しい保護者とも連絡を取り、それぞれの意見を聞き、出来る限り実行している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0		・スタッフが個別に問題点を話し合い、全員参加のミーティングで検討・修正を加えている。 ・新設事業所のため、これから公開していく。 ・自己評価の結果を今後、事業所ホームページで公開していく。 ・今後ホームページを通して公開予定である。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	1		・現在は実施していないが、検討している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・外部の研修会等で学んだ内容をミーティング等で提示し、スタッフ間で共有するようになっている。 ・定期的にミーティングを通して行っている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・保護者の評価・要望をふまえて、スタッフ間の意見も加味したうえで、計画を作成している。 ・子供たちの成長に合わせて行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するため、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	・定期的にツールの内容が適切か検討している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・定期的にミーティングを行い、スタッフそれぞれが提案を検討し決定している。 ・ミーティング等を通して行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・定期的なミーティング等で、活動内容について検討し、改善を図っている。 ・ミーティング等を通して行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	・休日・長期休暇のときにはイベント(満足等)を計画している。	
適切な支援の提供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・それぞれの子供たちに合わせて行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・支援開始前、前日の支援記録、業務日報等を確認し、その日の支援に必要な内容や役割分担を確認している。 ・保護者からの連絡等をスタッフ間で必ず共有している。 ・前日に申し送り等を行って確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	・個別支援記録や業務日報に、子供の状況を詳細に記載し、支援の検証・改善につなげている。 ・支援記録をスタッフ全員で確認している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・個別支援記録や業務日報に、子供の様子を詳細に記載し、支援の検証・改善につなげている。 ・支援記録をスタッフ全員で確認している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・定期的に原簿や支援センター等とも連絡を取り、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。 ・定期的にミーティング等を通して行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	1	0		

20	障害児相談支援事業所のサーピス担当者と会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前によりチェックを行い、子供の状況を改めて確認し、児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。</li> </ul>
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との情報共有(年間行事、下校時刻の確認等)を、送迎時や電話連絡等を通して定期的にしている。</li> </ul>
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は医療的ケアが必要な利用者がいないが、必要に応じて対応していきたい。</li> </ul>
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所を利用されることになった場合は、就学前に利用してもらった児童発達支援事業所等に連絡し、情報共有に努めている。</li> </ul>
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サーピス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業所のため、今のところ移行した利用者がいない。</li> <li>また事例がない。</li> <li>支援内容等の情報を提供する用意はできているが、現在は該当する利用者がいない。</li> </ul>
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて児童発達支援センターと連絡を取り合い、いただいた助言を支援にいかすようになっている。</li> </ul>
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は交流はないが、今後検討していく。</li> <li>今後、児童館などの利用を増やし、交流する機会を作っていく予定。</li> </ul>
27	(地域自立支援協議会等へ積極的に参加している)	2	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、協議会等へ責任者を派遣している。</li> </ul>
28	日頃から子どもどもの状況を保護者と伝え合い、子どもどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に連絡帳、SNS等を通して、日々の活動状況や保護者に伝え、状況や課題を共有するよう努めている。</li> <li>新しい発見や、出来たことを連絡帳、又は写真等を盛りLINEで送っている。</li> <li>連絡帳、LINE、ホームページのブログなどを通し、日頃の活動などを伝えている。</li> </ul>
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>主として連絡帳、LINE等を通して保護者に支障している。</li> <li>発達障がいの子供を伸ばすための圖書を購入することもある。</li> </ul>
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所利用前に、必ず説明の時間を設け、理解して頂けるようにしている。</li> </ul>
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の困難等を必要に応じて実施し、必要な助言や支援を行っている。</li> <li>子育て経験のあるスタッフが中心となり、助言等をしている。</li> </ul>
32	父母の卒の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、検討している。</li> <li>今後、保護者会等を開催できるように検討している。</li> </ul>
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のところ事例はない。</li> <li>苦情について、文書だけでなく、その他の手段によるものでも対応できるようにしている。</li> <li>今のところ事例はないが、対応できるようにしている。</li> </ul>
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたより、SNS等を通して行っている。</li> <li>毎月おたよりを発行し、子供や保護者に伝え、ホームページで活動内容やイベント等の情報を公開している。</li> <li>毎月チャイルド○○○○通信(おたより)を発行し、活動概要や行事予定等をお知らせしている。</li> </ul>
35	個人情報に十分注意している	5	0	0	0	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の意思を確認するために選取紙を用意したり、「伝える化」したりする等の配慮をしている。</li> </ul>
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は実施していないが、今後検討している。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等



非常時等の対応		4	1	0	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0	緊急時対応マニュアル等を策定し、ミーティングや保護者向け通信を通して周知を図っている。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	定期的に避難訓練を行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	0	虐待防止研修の内容をミーティングで提示し、未受講者を促している。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3	1	現在、虐待防止研修の内容をふまえ、早速に組織決定し、子紙や保護者の同意を得るべく検討している。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	保護者に食物アレルギーについて確認し、食事・おやつ等に配慮している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	0	ミーティング等で事例を提示し、共有している。